山地治山事業

渓流が浸食され、荒廃が進行しつつある渓流。放置すると、大雨時に土石流などが発生し、下流域にある公共施設等に被害を与える恐れがあるため、復旧対策として治山ダムを設置しています。（昭和61年度 復旧治山事業: 美深町）

治山ダム設置から17年経過した平成15年の状況です。治山ダムの効果によって渓流が安定し森林が回復してきており、土石流等による災害を防ぐことが期待できます。
山地治山事業

山腹が崩壊し大雨時には、山崩れの恐れがあります。

人家等を土砂崩れなどの災害から守るため土留工の設置や、植栽などにより山腹の崩壊地を復旧。
（平成12年度 復旧治山事業：苫前町）

治山事業の実施により山腹崩壊地が安定し森林が回復した、めずらす姿です。　（イメージ写真）